

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アイランドシティ物流センター	階数	地上5F
建設地	福岡県福岡市東区みなと香椎3丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	139 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年6月8日
敷地面積	25,089 m ²	作成者	ニッセイ・エンジニアリング株式会社一級建築士事務所
建築面積	14,254 m ²	確認日	2017年6月8日
延床面積	49,314 m ²	確認者	ニッセイ・エンジニアリング株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外壁はできるだけ道路からセットバックし、通風に配慮すると共に圧迫感を和らげている。敷地周囲には緑地帯を設け、条例の必要面積を確保し周辺環境の向上に努めている。また、建物の仕上げ色は白を基調とし、高彩度色は不使用としている。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>F☆☆☆☆の建材を採用し、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高にゆとりをもたせ、壁長さ比率を低く設計している。また、建物を免震構造とし、建物のサービス性能の向上に努めている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>標準的な配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.72、BEI_m=0.36とし、建物の省エネルギー性能の向上に努めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS地下、OAフロアの採用により、資源・マテリアル項目に配慮した設計としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率67%とし、敷地外環境の向上に努めている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される